

入試分析 社会

【出題形式】

- 問 1 : 世界地理
- 問 2 : 日本地理
- 問 3 : 歴史 (古代~近世)
- 問 4 : 歴史 (近現代)
- 問 5 : 公民 (経済・社会保障)
- 問 6 : 公民 (国際・政治・憲法・人権)
- 問 7 : 「西アジア」に関する融合問題

やや易化。ただし読解力必要！

出題形式と設問数は昨年度と変わらない。大問 7 題で設問数 34 個。選択肢 6 つが 9 問、選択肢 8 つが 3 問で減少。選択肢 9 つは消滅。問 7 は昨年の南アジアに続き西アジアで出題。

- ・問 1 (ア)は暖流から北大西洋海流の向きを推測させる。
- ・問 2 (ウ)は宮城県各市の説明から盛んな産業を推測させる。
- ・問 4 (イ)はOPPケパー節という傍線部の語句は関係なく、問題文の「江戸時代末期」と関連するものを選ぶ。

基本的な知識で解ける問題が多く、資料の読み取りも素直な傾向だった。ただし、読解力が問われる設問が増えた。

問 3 (オ) 歴史 資料や選択肢を読み比べる読解問題

オ — 線④に関して、Kさんは、「江戸時代の長崎に滞在している人びとの様子は、どのようなものであったのだろうか。」という学習課題を設定し、次の資料2を用意しメモを作成した。あとの文a~dのうち、資料2とメモに関して正しく述べた文を二つ選んだときの組み合わせとして最も適するものを、1~6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料2 「唐蘭館絵巻」の一部



(長崎歴史文化博物館所蔵)

メモ

資料2は、オランダ商館の医者であるシーボルトと深い関係のある人物によって描かれたもので、唐人屋敷でおこなわれた籠踊とよばれる芸能の様子を表しています。籠踊はもともと中国の催し物ですが、唐人屋敷の近くに住んでいた日本の町民がこれを教わり、現在でも長崎独特の芸能として残っています。

(長崎市ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- a 長崎に滞在していた外国の人びとは、住む場所や行動などを制限されていた。
- b 中国の人びとと日本の人びとが、貿易以外で接触することはなかった。
- c 長崎に滞在していた外国の人びとの中には、私塾をひらいて医学を教えた者もいた。
- d 資料2とメモは、江戸時代の上層の文化が現在まで伝わっていることを示す例である。

1. a, b 2. a, c 3. a, d 4. b, c 5. b, d 6. c, d

問 5 (イ) 5点UPプリント的中！ 為替市場の円高

(イ) — 線②に関して、金額や物価について述べた次の文X~Zの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1~8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- X 日本では、企業の自由な価格競争を制限するために独占禁止法が制定された。
- Y 外国為替市場において、円が売られる動きが進むと、為替レートは円高になりやすい。
- Z 日本における鉄道や乗合バスの運賃は、政府や地方公共団体は管理していない。

《入試に向けて》

① Weekly Test と教科書で基本的な知識や用語の暗記を行う。

4月~10月までに地理・歴史の基礎知識を仕上げる。

② 歴史は年号ごろ合わせも使って、暗記を行う。

できごとや文化を見て、時代や順番が言えるように復習する。

③ 資料やグラフの読み取りに慣れる。縮尺の計算、割合や%から数量も計算できるようにする。

読解力と計算力をつける！

④ キーワードからどの知識が問われているかを推測する。

模試・テスト&ゼミ・入試過去問を解いて、知識をアウトプットする訓練をする。忘れていた知識を見つけて補強する。